

学年	高校3年	教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	4
教科書名	詳説 世界史 B (山川出版)			副教材名	アカデミア世界史 (浜島書店)		
コース クラス	スポーツ・芸能 スポーツ／芸能			担当者名	菊池 伸宏 / 平井 領		

## I. 目標

1. 基礎学力到達度テスト6割をめざし、基礎的な問題に対応できる実力を身につける。
2. 多角的な視点を持ち、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
3. 学習を通じて世界の一体化が進む過程を理解し、歴史的思考力を培う。

## II. 授業のねらい

1. 基礎学力選抜方式での日本大学合格を目指し、講義や問題演習を実施する。
2. 現代社会に起こる様々な出来事に歴史的背景があることを理解させ、物事を多面的に捉える力を身につけさせる。
3. 日本を含む世界の歴史の複合性や関連性を理解させ、歴史に対する理解を深めるとともに、生徒の学力向上を図り、生徒の進路実現に寄与する。

## III. 授業の進め方

1. 講義 (3 単位)
  - ①シラバス通りの授業を展開する。
  - ②演習 (1 単位) の内容②③に関しては、3 単位内で実施することもある。
2. 演習 (1 単位)
  - ①演習授業を実施する。
  - ②講義 (3 単位) の小テストなどは原則演習 (1 単位) の時間に実施する。
  - ③模試演習、過去問演習、到達度演習など、必要に応じて実施する。
3. 世界史用語集の重要単語を学習の目安とする。
4. iPad の一問一答アプリも活用して、授業内でも小テストを適宜実施し、理解度の確認と知識の定着を図る。
5. 図表などを使用しながら、その時々々の事例と現代とのつながりをつかませる。

## IV. 学習上の留意点

1. 用語の暗記のみではなく、様々な事象を体系的に覚えること。
2. 板書の書き写しだけでなく、口頭での説明を細かくメモし付随する知識も身につけること。
3. 配られた資料は、ノートに貼るなどして管理し、復習に努めること。

## V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : 重商主義と啓蒙専制主義～ウィーン体制の成立
- 1 学期 期末試験 : ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生～東アジアの激動
- 2 学期 中間試験 : 帝国主義と列強の展開～第二次世界大戦
- 2 学期 期末試験 : 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立～現代文明の諸相

## VI. 評価の方法

各学期の定期試験、小テスト、提出物 (課題)

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 1 重商主義と啓蒙専制主義 2 ヨーロッパ諸国の海外進出 3 17～18世紀ヨーロッパの社会と文化	小テスト	①16～18世紀における「近世」ヨーロッパ主権国家諸国の動向を通して、「近代国家」形成へと向かう過程を理解する。
	5	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 1 産業革命 2 アメリカ独立革命 3 フランス革命とナポレオン 第11章 欧米における近代国民国家の発展 1 ウィーン体制の成立		
	6	2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 3 南北アメリカの発展 4 19世紀欧米の文化	小テスト	②18世紀後半から始まる一連の「市民革命」が近代「国民国家」の成立と近代民主政治に与えた影響を理解する。  ③市民革命後のヨーロッパ諸国・ラテンアメリカにおける自由主義とナショナリズムの運動の広まり、およびアメリカ合衆国の領土拡張と南北戦争以後の発展について理解する。
		7		
二学期	9	基礎学力到達度テスト対策演習	到達度テスト	
	10	第13章 帝国主義とアジアの民族運動 1 帝国主義と列強の展開 2 世界分割と列強対立 3 アジア諸国の改革と民族運動	小テスト	⑤帝国主義の特質およびその時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解するとともに、列強の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。
		11		
	12	第15章 冷戦と第三世の独立 1 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 2 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 3 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り 4 石油危機と世界経済の再編	小テスト	⑦米・ソを中心とした冷戦体制の成立から冷戦の激化、その後の国際政治や経済の多極化、そして冷戦終結へと至る流れを理解する。
		第16章 現在の世界 1 社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 2 途上国の民主化と独裁政権の動揺 3 地域紛争の激化と深刻化する貧困 4 現代文明の諸相		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。